



IT Automation

バージョンアップ

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

第1.6.1版

Exastro developer

目次

1. はじめに
 - 1.1 本資料について
2. システム構成
 - 2.1 動作環境・条件
3. ITAバージョンアップ手順
 - 3.1 事前準備 (1/1)
 - 3.2 ITAバージョンアップフロー
 - 3.3 バージョンアップ (1/6)
 - 3.4 バージョンアップ (2/6)
 - 3.5 バージョンアップ (3/6)
 - 3.6 バージョンアップ (4/6)
 - 3.7 バージョンアップ (5/6)
 - 3.8 バージョンアップ (6/6)
4. ITA動作確認
 - 4.1 動作確認 (1/1)

1. はじめに

1.1 本資料について

■ 本資料について

- 本資料では、オールインワン構成でインストールされているITA環境に対して、バージョンアップを行う手順について記載しています。



2. システム構成

2.1 動作環境・条件

ITAのバージョンアップを行う環境について

- 本書の手順は、オールインワン構成でインストールされているITA環境に対して実施可能です。
- バージョンアップに対応しているITAのバージョンは**1.4.0以降**です。
1.4.0以降のITAバージョンの環境に対して、本書の手順を実施することによりバージョンアップを行うことができます。



3. ITAバージョンアップ手順

3.1 事前準備 (1/1)

ITAバージョンアップツール一覧

- ITAバージョンアップツール一覧は以下となります。

説明	ファイル	格納先
ITAインストーラー	ita_installer.sh	/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/
アンサーファイル	ita_answers.txt	/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/

3.2 ITAバージョンアップフロー

■ バージョンアップフロー

- バージョンアップは以下のフローとなっています。



3.3 バージョンアップ (1/6)

*バージョンアップのユーザーはrootユーザーで実施すること。

ITA環境のバックアップ

- 事前にITA環境のバックアップを取得してください。

Githubからの資材ダウンロード

- 以下のコマンドで資材をDLします。

```
# curl -OL https://github.com/exastro-suite/it-automation/releases/download/vx.x.x/exastro-it-automation-x.x.x.tar.gz
```

※ curlコマンドは事前にインストールしてください。

※バージョン(x.x.x)は適宜変更してください。

資材の展開

- .tar.gzファイルを解凍します。

```
# tar xzf exastro-it-automation-x.x.x.tar.gz
```

ディレクトリ移動

- バージョンアップ設定を行うアンサーファイルとシェルのあるディレクトリに移動します。

```
# cd it-automation-x.x.x/ita_install_package/install_scripts
```

3.4 バージョンアップ (2/6)

■ アンサーファイル(ita_answers.txt)を編集

- ITAのバージョンアップ設定を行うアンサーファイルを事前に作成してください。
- バージョンアップを行う際、ライブラリのインストールを行う場合は「install_mode」の値を「Versionup_All」に、ライブラリのインストールを行わない場合は「Versionup_ITA」にしてください。
- バージョンアップに使用する項目は「install_mode」と「ita_directory」になります。 その他の項目は使用いたしません。

種目	必須	初期値	説明
install_mode	○	Install_Online	インストールモードの設定 ・ Install_Online : オンラインインストール ・ Install_Offline : オフラインインストール ・ Gather_Library : ライブラリ収集 ・ Install_ITA : ITA本体のインストール ・ Versionup_All : ITA本体のバージョンアップ (ライブラリのインストールあり) ・ Versionup_ITA : ITA本体のバージョンアップ (ライブラリのインストールなし) ・ Uninstall : ITA本体のアンインストール
ita_directory	○	-	インストールディレクトリ ITAをインストールするディレクトリを絶対パスで指定してください。 全ユーザーが参照可能なディレクトリを指定してください。 ディレクトリが無い場合作成されます。
ita_language	-	en_US	ITA画面表示の言語 (日本語 (ja_JP) / 英語 (en_US))
ita_domain	-	exastro-it- domain(official)	ITAのドメイン名の指定 (ITAインストーラーが自己証明書を作成する時はこちらの値を使用) バージョンアップでは使用しません
certificate_path	-	-	ユーザ指定のSSLサーバ証明書に使用するファイルのファイルパスを指定 (ユーザ指定のSSL証明書使用時のみ入力。絶対パスで指定してください。)
private_key_path	-	-	ユーザ指定のSSL秘密鍵に使用するファイルのファイルパスを指定 (ユーザ指定のSSL秘密鍵使用時のみ入力。絶対パスで指定してください。)

3.5 バージョンアップ (3/6)

■ インストールモードについて

- バージョン1.6.0より、インストーラー起動時に実行するシェルがita_installer.shのみに統一され、アンサーファイル(ita_answers.txt)の「install_mode」の値によって、インストーラーの動作が分岐します。バージョンアップ時には以下のいずれかの値を入力します。
 - Versionup_All : バージョンアップで必要となるライブラリをインターネット経由で追加インストールした後、ITA本体をバージョンアップします。
 - Versionup_ITA : ライブラリのインストールは行わずに、ITA本体をバージョンアップします。
- オンライン環境でライブラリを自動でインストールする場合は、「install_mode」を「Versionup_All」を、オフライン環境、またはライブラリを自動でインストールしない場合は、「Versionup_ITA」を入力してください。

3.6 バージョンアップ (4/6)

■ アンサーファイル(ita_answers.txt)のサンプル

- アンサーファイル(ita_answers.txt)のサンプルを以下に示します

```
# Select install mode.
# ("Install_Online", "Install_Offline", "Gather_Library", "Install_ITA",
# "Versionup_All", "Versionup_ITA", "Uninstall")
# e.g) install_mode:Install_Online
# *This installer operates according to the inputted values below.
# Install_Online: ITA will be installed after the necessary libraries
#                 has been installed via internet.
# Install_Offline: ITA will start installing using the package created
#                 in Gather Library.
# Gather_Library: Gathers the necessary libraries via internet and creates
#                 the package necessary to execute Install_Offline.
#                 (Execute this before executing Install_Offline)
# Install_ITA: Installs ITA without installing any libraries.
# Versionup_All: Installs ITA after installing the necessary libraries for
#                 the desired ITA version via internet.
# Versionup_ITA: Updates ITA without installing any libraries.
# Uninstall: ITA Uninstalls ITA. (Libraries will not be uninstalled)
install_mode: Versionup_All

# e.g) ita_directory:/exastro
ita_directory:/exastro

# Select language. ("en_US" or "ja_JP")
# e.g) ita_language:en_US
ita_language:en_US
```

POINT

バージョンアップで
使用する項目は
「install_mode」と
「ita_directory」にな
ります。
その他の項目は使用いた
しません。

```
#####
# Enter when using user-specified certificates and private keys.
# If no file path is entered for both "certificate_path" and "private_key_path",
# the ITA installer creates and installs a self-certificate and private key
# using the values entered in "ita_domain".

# Enter the file path where the certificate to be install.
# e.g) certificate_path:/temp/etc_pki_tls_certs/exastro-it-automation.crt
certificate_path:

# Enter the file path where the private key to be install.
# e.g) private_key_path:/temp/etc_pki_tls_certs/exastro-it-automation.key
private_key_path:
#####
```

POINT

アンサーファイル
(ita_answers.txt)ではど
の項目にも全角文字が使用
できません。

3.7 バージョンアップ (5/6)

ITAインストーラー (バージョンアップ) 実行

- 以下のコマンドで、ITAインストーラー (バージョンアップ) を実行します。

```
# sh ita_installer.sh
```

- アンサーファイル (ita_answers.txt) の「install_mode」が「Versionup_All」の場合は、処理の途中でライブラリが自動でインストールされます。
バージョンごとにインストールされるライブラリは次ページを参照してください。

処理の確認

- 正常に終了すると、取得した資材のバージョンに上げることができます。
- バージョンアップツールを実行するとita_version_up.logに処理内容が出力されます。
- ログ格納パス

```
/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/log/
```

終了ステータスについて

- ITAインストーラーは、シェルの処理終了時に終了の状態によって以下の終了ステータスを返します。

正常終了時 : 0

異常終了時 : 1

3.8 バージョンアップ (6/6)

バージョンアップ時にインストールされるライブラリ一覧

- アンサーファイル (ita_answers.txt) の「install_mode」に「Versionup_All」を入力した場合は、インストール済のドライバに応じて以下のライブラリが自動でインストールされます。

「VersionUP_ITA」を入力した場合は、手動でライブラリのインストールを実施してください。

バージョン	インストール済ドライバ	ライブラリ名	インストールコマンド	必須	用途
1.5.0	ita_base	php-devel	yum install -y php-devel	○	YAML解析ライブラリ(yaml)に使用。
		libyaml	yum install -y libyaml	○	YAML解析ライブラリ(yaml)に使用。
		libyaml-devel	yum install -y libyaml-devel	○	YAML解析ライブラリ(yaml)に使用。
		make	yum install -y make	○	YAML解析ライブラリ(yaml)に使用。
		yaml	pecl install yaml	○	YAML解析ライブラリ(yaml)に使用。
	ansible-driver	nc	yum install -y nc	-	プロキシ環境下のITAからAWSなどの対外サーバにプロキシサーバ経由でSSH接続しAnsible Playbook実行する際のSSHコマンドオプションに使用。
		paramiko	pip3 install paramiko	-	ansible_connectionにnetwork_cliを指定してネットワーク機器に接続するために必要。
1.6.0	バージョン1.6.0で追加されたライブラリはありません。				
1.6.1	バージョン1.6.1で追加されたライブラリはありません。				

4. ITA動作確認

4.1 動作確認 (1/1)

バージョンの確認

- ITAにログイン後、[管理コンソール]-[バージョン情報]メニューでバージョンが上がっていることを確認してください。



The screenshot displays the Exastro IT Automation management console. The top header features the Exastro logo and the text "管理コンソール". A left-hand menu lists various system management options. The main content area is titled "バージョン情報" (Version Information) and contains a table listing the versions of various components. The "バージョン確認" (Version Confirmation) option in the left menu is highlighted with a red dashed box.

ドライバ	バージョン
Base	Exastro IT Automation Base functions version 1.6.1
Ansible	Exastro IT Automation Ansible Driver version 1.6.1
Cobbler	Exastro IT Automation Cobbler Driver version 1.6.1
Create_param	Exastro IT Automation Create_param version 1.6.1
Hostgroup	Exastro IT Automation Hostgroup version 1.6.1
Hostgroup2	Exastro IT Automation Hostgroup2 version 1.6.1
Hostgroup3	Exastro IT Automation Hostgroup3 version 1.6.1
Material	Exastro IT Automation Material version 1.6.1
Material2	Exastro IT Automation Material2 version 1.6.1
Material4	Exastro IT Automation Material4 version 1.6.1
Terraform	Exastro IT Automation Terraform Driver version 1.6.1



Exastro